

三省堂『古典A』（古A306）評価規準例案資料

教材名	イントロダクション 蜂飼いの大臣（古事談）	配当時間	1
学習指導要領の 言語活動例	ア 古文や漢文の調子などを味わいながら音読，朗読，暗唱をすること。		
学習指導要領の 指導事項	ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り，人間，社会，自然などについて考察すること。 イ 古典特有の表現を味わったり，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	① 古文に描かれたものの見方や感じ方について関心を持つ。	① 説話が述べようとしている主題について考えようとしている。	発言の確認
読む能力	② 古文の文章を歴史的仮名遣いなどに注意しながら音読する。 ③ 描かれているできごとの経緯をおおむね理解する。	② 歴史的仮名遣いなどに注意しながら，本文をおおむね音読できる。 ③ 鳥羽殿でのできごとを，順を追っておおむね記述できる。	行動の観察 記述の点検
知識・理解	④ 古文に特有の表記法や表現，語彙などがあることを理解する。	④ 本文の主要な箇所を現代語に直せる。	記述の点検

三省堂『古典A』（古A306）評価規準例案資料

教材名	イントロダクション 恵心僧都の母（発心集）	配当時間	2
学習指導要領の 言語活動例	ア 古文や漢文の調子などを味わいながら音読，朗読，暗唱をすること。		
学習指導要領の 指導事項	ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り，人間，社会，自然などについて考察すること。 イ 古典特有の表現を味わったり，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	① 古文に描かれた人々のものの見方や考え方に興味を持つ。	① 「ありがたかりける母の心なり。」の一文の意義を考えようとしている。	発言の確認
読む能力	② 古文の文章を歴史的仮名遣いなどに注意しながら音読する。 ③ 古文に描かれた人物の心情や考えを理解する。	② 歴史的仮名遣いなどに注意しながら，本文をおおむね音読できる。 ③ 僧都の心情の変化と母の言動の意外さをおおむね把握できる。	行動の観察 記述の点検
知識・理解	④ 古文特有の単語の意味を理解する。	④ 主要な古文特有の単語の文脈中での意味をおおまかに把握できる。	記述の点検

三省堂『古典A』（古A306）評価規準例案資料

教材名	百鬼夜行（宇治拾遺物語）	配当時間	3
学習指導要領の 言語活動例	<p>イ 日常の言語生活の中から我が国の伝統と文化に関連する表現を集め、その意味や特色、由来などについて調べたことを報告すること。</p> <p>ウ 図書館を利用して古典などを読み比べ、そこに描かれた人物、情景、心情などについて、感じたことや考えたことを文章にまとめたり話し合ったりすること。</p>		
学習指導要領の 指導事項	<p>ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。</p> <p>イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。</p> <p>ウ 古典などを読んで、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。</p>		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	① 説話に描かれた世界のおもしろさに関心を持つ。	① 説話のおもしろさがどこにあるかについて、考えようとしている。	発言の確認
読む能力	② 古文の文章を内容や展開、人物の様子などを考えて音読する。 ③ 説話に描かれた古代人の物の見方や考え方を理解する。	② 古文の文章を、登場人物の感情を押さえながら音読することができる。 ③ 「あさまし」が示す内容を明らかにし、その感覚を理解することができる。	行動の観察 記述の点検
知識・理解	④ 係助詞、接続助詞のはたらきについて理解する。	④ 係り結びの原則や接続助詞の意味を指摘することができる。	記述の点検

三省堂『古典A』（古A306）評価規準例案資料

教材名	観音になった男（宇治拾遺物語）	配当時間	2
学習指導要領の 言語活動例	<p>イ 日常の言語生活の中から我が国の伝統と文化に関連する表現を集め、その意味や特色、由来などについて調べたことを報告すること。</p> <p>ウ 図書館を利用して古典などを読み比べ、そこに描かれた人物、情景、心情などについて、感じたことや考えたことを文章にまとめたり話し合ったりすること。</p>		
学習指導要領の 指導事項	<p>ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。</p> <p>イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。</p> <p>ウ 古典などを読んで、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。</p>		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	① 説話に描かれた世界のおもしろさに関心を持つ。	① 説話に描かれた古代人の生に対する見方について考えようとしている。	発言の確認
読む能力	② 古文の文章を内容や展開、人物の様子などを考えて音読する。 ③ 登場人物の心情を理解する。	② 古文の文章を、話の展開や登場人物の心情を押さえながら音読することができる。 ③ 「男」の心情の変化、出家を決心するに至った経緯を説明できる。	行動の観察 記述の点検
知識・理解	④ 基本的な助動詞の意味や用法について理解する。	④ 基本的な助動詞の活用と意味を指摘し、現代語に置き換えることができる。	記述の点検

三省堂『古典A』（古A306）評価規準例案資料

教材名	呪いを知らせた犬（宇治拾遺物語）	配当時間	3
学習指導要領の言語活動例	<p>イ 日常の言語生活の中から我が国の伝統と文化に関連する表現を集め、その意味や特色、由来などについて調べたことを報告すること。</p> <p>ウ 図書館を利用して古典などを読み比べ、そこに描かれた人物、情景、心情などについて、感じたことや考えたことを文章にまとめたり話し合ったりすること。</p>		
学習指導要領の指導事項	<p>ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。</p> <p>イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。</p> <p>ウ 古典などを読んで、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。</p>		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	① 説話に描かれた古代人の精神世界に関心を持つ。	① 晴明をめぐる事件の推移の描かれ方に関心を持つようになっている。	発言の確認
読む能力	② 古文の文章を、話の展開や登場人物の性格や言動を考慮して音読する。 ③ 話の展開を、筋を追って詳細に理解する。	② 古文の文章の音読によって、物語の展開や人物の躍動感を生き生きと伝えることができる。 ③ 晴明をめぐる事件の展開を、時系列にそって記述できる。	行動の観察 記述の点検
知識・理解	④ 敬語の基礎について理解する。	④ 基本的な敬語の用法を正確に指摘できる。	記述の点検

三省堂『古典A』（古A306）評価規準例案資料

教材名	絵仏師の執心（宇治拾遺物語）	配当時間	4
学習指導要領の言語活動例	<p>イ 日常の言語生活の中から我が国の伝統と文化に関連する表現を集め、その意味や特色、由来などについて調べたことを報告すること。</p> <p>ウ 図書館を利用して古典などを読み比べ、そこに描かれた人物、情景、心情などについて、感じたことや考えたことを文章にまとめたり話し合ったりすること。</p>		
学習指導要領の指導事項	<p>ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。</p> <p>イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。</p> <p>ウ 古典などを読んで、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。</p>		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	① 説話に描かれた古代人の考え方や行動を批判的にとらえる。	① 良秀の取った行動や発言について、自分の考えを持つとしている。	発言の確認
読む能力	② 古文の文章を、話の展開や登場人物の性格、言動を考慮して音読する。 ③ 説話に登場する人物の特異性について理解し、説明する。	② 古文の文章の音読によって、物語の展開や人物の性格、言動を生き生きと伝えることができる。 ③ 良秀の人物としての特徴を、自分なりの表現によって記述できる。	行動の観察 記述の点検
知識・理解	④ 副助詞のはたらきについて理解する。	④ 副助詞の基本的な用法を正確に指摘できる。	記述の点検

三省堂『古典A』（古A306）評価規準例案資料

教材名	芥川龍之介「地獄変」	配当時間	2
学習指導要領の 言語活動例	<p>イ 日常の言語生活の中から我が国の伝統と文化に関連する表現を集め、その意味や特色、由来などについて調べたことを報告すること。</p> <p>ウ 図書館を利用して古典などを読み比べ、そこに描かれた人物、情景、心情などについて、感じたことや考えたことを文章にまとめたり話し合ったりすること。</p>		
学習指導要領の 指導事項	<p>ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。</p> <p>イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。</p>		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	① 古典作品と近・現代の作品とのつながりについて関心を持ち、その違いを明らかにしようとする。	① 「絵仏師の執念」の学習をもとに、「地獄変」を問題意識を持って読んでいる。	発言の確認
読む能力	② 古文と現代文を比べて読み、その内容や表現の特徴や違いを捉える。	② 「絵仏師の執念」と「地獄変」を比べて読み、その違いと特徴を説明できる。	発言の確認 行動の観察
知識・理解	③ 古典作品が近・現代の文学にも影響を与えていることを、作品を通して理解する。	③ 「絵仏師の執念」のどのようなところを芥川が取り上げようとしたのか、「地獄変」をもとに説明できる。	発言の確認 記述の点検

三省堂『古典A』（古A306）評価規準例案資料

教材名	夢を買う（宇治拾遺物語）	配当時間	2
学習指導要領の言語活動例	<p>イ 日常の言語生活の中から我が国の伝統と文化に関連する表現を集め、その意味や特色、由来などについて調べたことを報告すること。</p> <p>ウ 図書館を利用して古典などを読み比べ、そこに描かれた人物、情景、心情などについて、感じたことや考えたことを文章にまとめたり話し合ったりすること。</p>		
学習指導要領の指導事項	<p>ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。</p> <p>イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。</p> <p>ウ 古典などを読んで、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。</p>		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	① 説話に描かれた世界のおもしろさに関心を持つ。	① 説話に描かれた古代人の夢に対する見方について考えようとしている。	発言の確認
読む能力	② 古文の文章を内容や展開、人物の様子などを考えて音読する。 ③ 話の展開を順を追って理解し、理解したことを説明する。	② 古文の文章を、場面や登場人物の心情を押さえながら音読することができる。 ③ 話の展開をおさえることによって、編者の意図をくみとることができる。	行動の観察 記述の点検
知識・理解	④ 基本的な助動詞の意味や用法について理解する。	④ 基本的な助動詞の意味を文法的に説明することができる。	記述の点検

三省堂『古典A』（古A306）評価規準例案資料

教材名	袴垂と保昌（宇治拾遺物語）	配当時間	3
学習指導要領の言語活動例	<p>イ 日常の言語生活の中から我が国の伝統と文化に関連する表現を集め、その意味や特色、由来などについて調べたことを報告すること。</p> <p>ウ 図書館を利用して古典などを読み比べ、そこに描かれた人物、情景、心情などについて、感じたことや考えたことを文章にまとめたり話し合ったりすること。</p>		
学習指導要領の指導事項	<p>ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。</p> <p>イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。</p> <p>ウ 古典などを読んで、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。</p>		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	① 説話に描かれた登場人物の特徴に関心を持つ。	① 袴垂や保昌の人物造形のあり方やその描かれ方のおもしろさに関心を抱こうとしている。	発言の確認
読む能力	② 古文の文章を、登場人物の性格や心情を考えて音読する。 ③ 話の展開にそって、登場人物の心情の変化を理解し、その理解した内容を表現する。	② 古文の文章の音読によって、登場人物の性格や心情を生き生きと伝えることができる。 ③ 袴垂や保昌のやりとりを通して、その言動の裏にある心理を推し量ることができる。	行動の観察 記述の点検
知識・理解	④ 古文特有の文章表現を理解する。	④ 省略された文の主語を補って、その動作主を指摘することができる。	記述の点検

三省堂『古典A』（古A306）評価規準例案資料

教材名	後の千金（宇治拾遺物語）	配当時間	3
学習指導要領の 言語活動例	<p>イ 日常の言語生活の中から我が国の伝統と文化に関連する表現を集め、その意味や特色、由来などについて調べたことを報告すること。</p> <p>ウ 図書館を利用して古典などを読み比べ、そこに描かれた人物、情景、心情などについて、感じたことや考えたことを文章にまとめたり話し合ったりすること。</p>		
学習指導要領の 指導事項	<p>ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。</p> <p>イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。</p> <p>ウ 古典などを読んで、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。</p>		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	① 古代日本文学のあり方に関心を持つ。	① 日本文学に与えた中国古典の影響を理解しようとしている。	発言の確認
読む能力	② 話の展開のおもしろさを表現して音読する。 ③ 話の展開を順を追って理解し、説明する。	② 話の展開のおもしろさが伝わるように工夫して音読することができる。 ③ たとえ話での対応関係を説明できる。	行動の観察 記述の点検
知識・理解	④ 副詞の意味と用法を明らかにする。	④ 「さらに」の意味と用法を説明できる。	記述の点検

三省堂『古典A』（古A306）評価規準例案資料

教材名	応天門炎上（宇治拾遺物語）	配当時間	5
学習指導要領の 言語活動例	<p>イ 日常の言語生活の中から我が国の伝統と文化に関連する表現を集め、その意味や特色、由来などについて調べたことを報告すること。</p> <p>ウ 図書館を利用して古典などを読み比べ、そこに描かれた人物、情景、心情などについて、感じたことや考えたことを文章にまとめたり話し合ったりすること。</p>		
学習指導要領の 指導事項	<p>ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。</p> <p>イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。</p> <p>ウ 古典などを読んで、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。</p>		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	① 編者の視点について関心を持つ。	① 登場人物に対する説話編者の描き方について考えようとしている。	発言の確認
読む能力	② 古文の文章を、話の展開や場面の特徴を考えて音読する。 ③ 話の構成と展開を理解し、その理解した内容を表現する。	② 古文の文章の音読によって、事件の展開のおもしろさや場面の緊迫感を生き生きと伝えることができる。 ③ 話全体を四場面に分け、それぞれの内容を簡潔にまとめることができる。	行動の観察 記述の点検
知識・理解	④ 古文の敬語の基礎を理解する。	④ 敬語の用法を分類し、その敬意の主体と対象を指摘することができる。	記述の点検

三省堂『古典A』（古A306）評価規準例案資料

教材名	歌詠みの徳（宇治拾遺物語）	配当時間	3
学習指導要領の 言語活動例	<p>イ 日常の言語生活の中から我が国の伝統と文化に関連する表現を集め、その意味や特色、由来などについて調べたことを報告すること。</p> <p>ウ 図書館を利用して古典などを読み比べ、そこに描かれた人物、情景、心情などについて、感じたことや考えたことを文章にまとめたり話し合ったりすること。</p>		
学習指導要領の 指導事項	<p>ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。</p> <p>イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。</p> <p>ウ 古典などを読んで、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。</p>		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	① 説話に描かれた世界のおもしろさに関心を持つ。	① 古代人にとっての和歌の意義について考えようとしている。	発言の確認
読む能力	② 古文の文章を内容や展開、人物の様子などを考えて音読する。 ③ 説話の主題を理解する。	② 古文の文章を、話の主題や人物の心情をpushしながら音読することができる。 ③ 大隅の守が郡司の罪を許すことになった経緯を説明できる。	行動の観察 記述の点検
知識・理解	④ 動詞の活用の基本について理解する。	④ 主要な動詞の活用の種類と活用形を指摘し、活用表を作ることができる。	記述の点検

三省堂『古典A』（古A306）評価規準例案資料

教材名	絵師と大工（今昔物語集）	配当時間	3
学習指導要領の 言語活動例	ウ 図書館を利用して古典などを読み比べ、そこに描かれた人物、情景、心情などについて、感じたことや考えたことを文章にまとめたり話し合ったりすること。		
学習指導要領の 指導事項	ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。 イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	① 編者の採録の意図について関心を持つ。	① 本話が伝えようとしている主題について考えようとしている。	発言の確認
読む能力	② 古文の文章を、登場人物の心情を考えて音読する。 ③ 話の構成と展開を理解し、その理解した内容を表現する。	② 古文の文章の音読によって、登場人物の心情を生き生きと伝えることができる。 ③ 登場人物の二人の関係や技を競い合っていたときの気持ち、お互いに相手をどう思っていたのかを読み取り、簡潔にまとめることができる。	行動の観察 記述の点検
知識・理解	④ 古文の敬語の基礎を理解する。	④ 敬語の用法を分類し、その敬意の主体と対象を指摘することができる。	記述の点検

三省堂『古典A』（古A306）評価規準例案資料

教材名	玄象の琵琶（今昔物語集）	配当時間	2
学習指導要領の 言語活動例	ウ 図書館を利用して古典などを読み比べ、そこに描かれた人物、情景、心情などについて、感じたことや考えたことを文章にまとめたり話し合ったりすること。		
学習指導要領の 指導事項	ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。 イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	① 説話が描く世界のおもしろさを味わう。	① この話のどのような点がおもしろいかを感じ取ろうとしている。	発言の確認
読む能力	② 登場人物の心理を表現して音読する。 ③ 話の展開が持つ意味を理解し、説明する。	② 登場人物の心理が伝わるように工夫して音読することができる。 ③ 博雅の性格や行動の特徴をとらえ、琵琶を取り戻せた理由をまとめられる。	行動の観察 記述の点検
知識・理解	④ 助動詞の意味と活用形を明らかにする。	④ 断定の助動詞の意味と活用形を理解している。	記述の点検

三省堂『古典A』（古A306）評価規準例案資料

教材名	姨母捨山（今昔物語集）	配当時間	3
学習指導要領の 言語活動例	ウ 図書館を利用して古典などを読み比べ、そこに描かれた人物、情景、心情などについて、感じたことや考えたことを文章にまとめたり話し合ったりすること。		
学習指導要領の 指導事項	ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。 イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	① 説話の持つ教訓の意味について考える。	① 説話の中で果たしている教訓と物語の展開との関係を理解しようとしている。	発言の確認
読む能力	② 登場人物の心情を理解して音読する。 ③ 登場人物の心情の変化を順を追って理解し、説明する。	② 「男」の心情の変化が伝わるように工夫して音読することができる。 ③ 話の展開にそって、「男」の心情の変化を書き記すことができる。	行動の観察 記述の点検
知識・理解	④ 現代語との間にずれのある動詞の活用について理解する。	④ 動詞を文法的に説明することができる。	記述の点検

三省堂『古典A』（古A306）評価規準例案資料

教材名	武士の祭り見物（今昔物語集）	配当時間	2
学習指導要領の 言語活動例	ウ 図書館を利用して古典などを読み比べ、そこに描かれた人物、情景、心情などについて、感じたことや考えたことを文章にまとめたり話し合ったりすること。		
学習指導要領の 指導事項	ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。 イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	① 説話が示唆する当時の人々の物の見方や考え方について知る。	① 説話を通して当時の文化のあり方について考えようとしている。	発言の確認
読む能力	② 話のおかしみを表現して音読する。 ③ 話の展開を簡潔にまとめる。	② 登場人物の様子や心理、話の展開のおかしみが伝わるように工夫して音読することができる。 ③ 観点にそって、話の展開の追って記述し、そのおもしろさがどこにあるのかを指摘することができる。	行動の観察 記述の点検
知識・理解	④ 文の接続についてまとめて理解する。	④ 接続助詞の意味を指摘し、現代語に直すことができる。	記述の点検

三省堂『古典A』（古A306）評価規準例案資料

教材名	笛吹き成方（十訓抄）	配当時間	2
学習指導要領の 言語活動例	ア 古文や漢文の調子などを味わいながら音読，朗読，暗唱をすること。		
学習指導要領の 指導事項	ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り，人間，社会，自然などについて考察すること。 イ 古典特有の表現を味わったり，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	① 説話によって伝えようとしている編者の意図を考える。	① 登場人物に対する編者の見方について考えようとしている。	発言の確認
読む能力	② 話の展開を簡潔にまとめる。	② 二人の登場人物の計略の応酬を簡潔にまとめることができる。	記述の点検
知識・理解	③ 古文の文の特性をとらえる。	③ 省略された文の主語を補い，動作主を明らかにすることができる。	記述の点検

三省堂『古典A』（古A306）評価規準例案資料

教材名	行成と実方（十訓抄）	配当時間	5
学習指導要領の 言語活動例	ア 古文や漢文の調子などを味わいながら音読，朗読，暗唱をすること。		
学習指導要領の 指導事項	ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り，人間，社会，自然などについて考察すること。 イ 古典特有の表現を味わったり，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	① 説話の背景の歴史や人物について調べて発表する。	① 自分が興味を持ったことがらについて，意欲的に調べて発表しようとしている。	発言の確認
読む能力	② 登場人物に関する編者の描き方をとらえる。	② 二人の登場人物の性格や言動の特徴とその後の運命の対比をまとめ，その因果関係に対する編者の見解を述べることができる。	行動の観察 記述の点検
知識・理解	③ 敬語の意義を理解する。	③ 敬語の取捨選択の意味を明らかにすることができる。	記述の点検

三省堂『古典A』（古A306）評価規準例案資料

教材名	義家と宗任（古今著聞集）	配当時間	3
学習指導要領の 言語活動例	ア 古文や漢文の調子などを味わいながら音読，朗読，暗唱をすること。		
学習指導要領の 指導事項	ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り，人間，社会，自然などについて考察すること。 イ 古典特有の表現を味わったり，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	① 説話の主題について考える。	① 説話の記述から登場人物に対する編者の評価や採録の意図を考えようとしている。	発言の確認
読む能力	② 話の展開の要点を押さえる。	② 話の前半と後半について，それぞれのエピソードの中心となっているできごとの意味をとらえることができる。	記述の点検
知識・理解	③ 用言の活用形の用法についての基本をまとめる。	③ 連体形の用法の違いについて指摘することができる。	記述の点検

三省堂『古典A』（古A306）評価規準例案資料

教材名	女盗賊（古今著聞集）	配当時間	3
学習指導要領の 言語活動例	ア 古文や漢文の調子などを味わいながら音読，朗読，暗唱をすること。		
学習指導要領の 指導事項	ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り，人間，社会，自然などについて考察すること。 イ 古典特有の表現を味わったり，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	① 編者の説話採録の意図について考える。	① 説話に描かれた事件に対する編者の感想を考えようとしている。	発言の確認
読む能力	② 話の展開の要点を押さえる。	② 事件が発覚した過程と盗賊の正体の意外性を読み取り，まとめることができる。	記述の点検
知識・理解	③ 古典の文章表現の特徴をとらえる。	③ 挿入句に注意して，現代語に直すことができる。	記述の点検

三省堂『古典A』（古A306）評価規準例案資料

教材名	相撲の勝負（古今著聞集）	配当時間	3
学習指導要領の 言語活動例	ア 古文や漢文の調子などを味わいながら音読，朗読，暗唱をすること。		
学習指導要領の 指導事項	ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り，人間，社会，自然などについて考察すること。 イ 古典特有の表現を味わったり，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	① 当時の人の物の見方や考え方を知る。	① 弘光の涙と出家の意味や鳥羽院の不快感の理由を考えようとしている。	発言の確認
読む能力	② 登場人物の性格や心情をとらえる。	② 二人の力士の様子や態度の描写を抜き出すことができる。	記述の点検
知識・理解	③ 敬語の用法の基本を理解する。	③ 補助動詞「候ふ」の意味とはたらきを説明することができる。	記述の点検

三省堂『古典A』（古A306）評価規準例案資料

教材名	イントロダクション 塞翁が馬	配当時間	2
学習指導要領の 言語活動例	ア 古文や漢文の調子などを味わいながら音読，朗読，暗唱をすること。		
学習指導要領の 指導事項	ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り，人間，社会，自然などについて考察すること。 ウ 古典などを読んで，言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	① 故事成語に興味を持ち，実際に使ってみたり，調べたりする。	① 「塞翁が馬」を用いて例文を作ったり，他の故事成語について調べ，使用したりすることができる。	行動の確認
読む能力	② 歴史的仮名遣いや訓点に注意して音読する。 ③ 描かれている話の展開をおおむね理解する。	② 歴史的仮名遣い・語順を間違わずにゆっくり読むことができる。 ③ 塞翁の周りで起きた出来事を時間の経過と共に整理することができる。	行動の確認 発言の確認
知識・理解	④ 訓点を理解する。	④ 書き下し文に改めて書くことができる。	記述の確認

三省堂『古典A』（古A306）評価規準例案資料

教材名	イントロダクション 朝三暮四	配当時間	2
学習指導要領の 言語活動例	ア 古文や漢文の調子などを味わいながら音読，朗読，暗唱をすること。		
学習指導要領の 指導事項	イ 古典特有の表現を味わったり，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 ウ 古典などを読んで，言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	① 故事成語に興味を持ち，実際に使ってみたり，調べたりする。	① 「朝三暮四」を用いて例文を作ったり，他の故事成語について調べ，使用したりすることができる。	行動の確認
読む能力	② 歴史的仮名遣いや訓点に注意して音読する。 ③ 場面に応じた登場人物の心情を理解する。	② 歴史的仮名遣い・語順を間違わずにゆっくり読むことができる。 ③ 狙と狙公心情の変化を読みとることができる。	行動の確認 発言の確認
知識・理解	④ 訓点を理解する。	④ 書き下し文に改めて書くことができる。	記述の確認

三省堂『古典A』（古A306）評価規準例案資料

教材名	イントロダクション 杞憂	配当時間	2
学習指導要領の 言語活動例	ア 古文や漢文の調子などを味わいながら音読，朗読，暗唱をすること。		
学習指導要領の 指導事項	イ 古典特有の表現を味わったり，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 ウ 古典などを読んで，言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	① 故事成語に興味を持ち，実際に使ってみたり，調べたりする。	① 「杞憂」を用いて例文を作ったり，他の故事成語について考え，使用したりすることができる。	行動の確認
読む能力	② 歴史的仮名遣いや訓点に注意して音読する。 ③ 文章を正確に読みとり，話の内容をイメージする。	② 歴史的仮名遣い・語順を間違わずにゆっくり読むことができる。 ③ 天地崩落を憂う人が心配する宇宙の様子をイメージすることができる。	行動の確認 発言の確認
知識・理解	④ 訓点を理解する。	④ 書き下し文に改めて書くことができる。	記述の確認

三省堂『古典A』（古A306）評価規準例案資料

教材名	論語（孔子の人となり・孔子と政治）	配当時間	2
学習指導要領の言語活動例	イ 日常の言語生活の中から我が国の伝統と文化に関連する表現を集め、その意味や特色、由来などについて調べたことを報告すること。		
学習指導要領の指導事項	ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。 イ 古典特有の表現を味わったり、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 ウ 古典などを読んで、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	① 孔子の考えに興味を持ち、現在に照らし合わせる。	① 孔子の考えが現在に通じることを、具体例を挙げて説明することができる。	発言の確認
読む能力	② 孔子の考え・心情を理解しながら音読する。 ③ 孔子の人となりと政治観を理解する。	② 孔子の考え・心情を把握して、すらすら読むことができる。 ③ 一章ごとにその場面と孔子の考えを読解し、それらを通じて孔子の人となりと政治観を追究することができる。	行動の確認 発言の確認
知識・理解	④ 訓点を理解し、現代語訳する。	④ 語順を間違えず書き下し文に改め、用法に注意して現代語訳することができる。	記述の確認

三省堂『古典A』（古A306）評価規準例案資料

教材名	老子（大道廃れて，仁義有り・天下水より柔弱なるは莫し）	配当時間	2
学習指導要領の 言語活動例	イ 日常の言語生活の中から我が国の伝統と文化に関連する表現を集め，その意味や特色，由来などについて調べたことを報告すること。		
学習指導要領の 指導事項	ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り，人間，社会，自然などについて考察すること。 ウ 古典などを読んで，言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	① 老子の思想に興味を持ち，現在に通用するか考える。	① 老子の考えを理解し，その世界を具体的にイメージすることができる。	発言の確認
読む能力	② 老子の考えを理解しながら音読する。 ③ 老子の考えを示す場面や比喻を正確に読みとり，その思想を追究する。	② 老子の考えを理解しながらすらすら音読する。 ③ 老子の思想と，それを示す場面や比喻との関連を説明することができる。	行動の確認 発言の確認
知識・理解	④ 訓点を理解し，現代語訳する。	④ 語順を間違えず書き下し文に改め，用法に注意して現代語訳することができる。	記述の確認

三省堂『古典A』（古A306）評価規準例案資料

教材名	荘子（渾沌）	配当時間	1
学習指導要領の 言語活動例	イ 日常の言語生活の中から我が国の伝統と文化に関連する表現を集め、その意味や特色、由来などについて調べたことを報告すること。		
学習指導要領の 指導事項	ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。 ウ 古典などを読んで、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	① 荘子の思想に興味を持ち、現在に通用するか考える。	① 荘子の考えを理解し、具体的にイメージすることができる。	発言の確認
読む能力	② 荘子の考えを理解しながら音読する。 ③ 荘子の考えを示す比喻を正確に読みとり、その思想を追究する。	② 老子の考えを理解しながらすらすら音読する。 ③ 老子の思想と、それを示す比喻との関連を説明することができる。	行動の確認 発言の確認
知識・理解	④ 訓点を理解し、現代語訳する。	④ 語順を間違えず書き下し文に改め、用法に注意して現代語訳することができる。	記述の確認

三省堂『古典A』（古A306）評価規準例案資料

教材名	漢詩（竹林館・峨眉山月歌・臨洞庭・登高）	配当時間	2
学習指導要領の 言語活動例	ア 古文や漢文の調子などを味わいながら音読，朗読，暗唱をすること。		
学習指導要領の 指導事項	ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り，人間，社会，自然などについて考察すること。 イ 古典特有の表現を味わったり，古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解したりすること。 ウ 古典などを読んで，言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	① 描かれた情景・作者の心情をイメージしながら音読し，そのリズムの良さを味わう。	① 描かれた情景・作者の心情に合わせ，テンポよく音読することができる。	行動の確認
読む能力	② 描かれている情景を味わい，その情景から作者の心情を読みとる。	② 語句・詩句・詩句と詩句の繋がり・全体の構成を理解し，作者の心情がどこに表れているか説明することができる。	発言の確認
知識・理解	③ 作者の時代背景や漢詩の決まりを理解する。	③ 唐代の時期区分，漢詩の形式・押韻・対句などの決まりを理解して，現代語訳することができる。	記述の確認

三省堂『古典A』（古A306）評価規準例案資料

教材名	三国志（三たび往きて、乃ち見る）	配当時間	3
学習指導要領の 言語活動例	ウ 図書館を利用して古典などを読み比べ、そこに描かれた人物、情景、心情などについて、感じたことや考えたことを文章にまとめたり話し合ったりすること。		
学習指導要領の 指導事項	ア 古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察すること。 ウ 古典などを読んで、言語文化の特質や我が国の文化と中国の文化との関係について理解すること。 エ 伝統的な言語文化についての課題を設定し、様々な資料を読んで探求して、我が国の伝統と文化について理解を深めること。		

評価の観点	単元の目標	具体的な評価規準	評価方法
関心・意欲・態度	① 三国志に興味を持ち、前後のストーリー展開を知ろうとする。	① 三国志について、インターネットや漫画や映画などを利用して調べることができる。	行動の確認
読む能力	② 場面状況と登場人物の心情を理解しながら音読する。 ③ 場面状況を正確に読みとり、登場人物の心情・考えを理解する。	② 登場人物の心情に合わせて、読み方を工夫して音読することができる。 ③ 劉備の置かれた立場と孔明との関係を整理し、二人の心情と考えを説明することができる。	行動の確認 発言の確認
知識・理解	④ 基本文法を理解し、史伝作品の特徴に気づく。	④ 正確に現代語訳をすることができ、作品中に会話文を豊富に盛り込むことで現実感を増していることに気づく。	記述の確認